



みんなの「お手本」となっている6年生

校長 間嶋 哲

先月、佐渡への修学旅行に引率させていただきました。6年生が一人も欠けずに、全員参加できたこと。けがや車酔い・船酔いをする子どもが誰もいなかったこと。これだけで大変素晴らしいことでした。

相川技能伝承館で、ろくろ体験をしていたときのこと。職人氣質の厳しそうな先生が、「今年度に入って既に30か校ほど指導したが、あなたたちが一番上手でした」と最後に褒めていただきました。私も製作の過程を垣間見ていたので、それが決して、お世辞ではないと思いました。説明をしっかりと聴き、その通りに再現できていたからです。

普段は意識していなくても、このように他校と比べられる機会があると自校を振り返るきっかけとなります。訪問した施設の皆さん、ホテルの方、バスガイドの方（なんと一小の卒業生で、バスの中で校歌を歌いました）、旅行社、カメラマンの方など、他校の様子を毎日のように見ている皆さんから何気なくいただく好意的な声は、我が校の6年生の素晴らしさを、あらためて感じた機会となりました。

2日目の朝。宿泊先のホテル大佐渡から出発するとき、5分前行動をしていた男子全員が、ロビーに集まると、すでに女子の姿はありませんでした。なんと女子は15分前行動をしていて、すでにバスに乗り込んでいたのです。すでに出発式は終わっていたので、時間を無駄にしないための行動でした。

私自身も、これまで修学旅行の引率をたくさん経験してきましたが、教員が頻繁に発する言葉があります。それは、子どもが様々な質問を個別にしたときに発する言葉、「それは、しおりに書いています」です。そのような様子が、当校の修学旅行では全く見えません。自分の頭で考え、主体的に動いているからです。

ところで、今年度から新津第一中学校区で「子ども支援コーディネータ」が配置され、新津第一中学校の捧教諭が毎週火曜日に勤務しています。業務日誌から抜粋します。

6月27日（火）6限

修学旅行の振り返り。しおりに書かれているものを見たが、ほとんどの児童がびっしりと書き込んでいた。事前学習の成果と、先生方の指導のあらわれだと思う。

相手の話を真剣に聴ける子ども。旅行のしおりを読み込み、先のことを考え行動できる子ども。そして何よりも、振り返りがきちんとできる子どもである要因は、やはり家庭や地域の教育力に支えられた、当校教職員の努力が根底にあるからだと自負しています。

私のミッションは、新津第一小のブランドを今以上に上げていくこと。そして、知性と笑顔あふれる小学校にしていくことです。一步一步、近づいています。

～佐渡への修学旅行～ 6年生

修学旅行で身に付いた力

僕が修学旅行で身に付けることができた力は、二つあります。一つ目は、時間を意識することです。腕時計やその場にある時計を見て、常に時間を意識して行動しました。二つ目は、リーダーシップを発揮することです。僕は、生活班の班長の仕事で焦ってミスをしました。この失敗で、ぼくは、「リーダーの責任」がとても重要だということが改めてよくわかりました。この経験を活かして、これからさらにレベルアップした振る舞いがしたいです。



修学旅行を振り返って

僕は、この修学旅行でいろいろなことを学んだ。例えば、協力することが大事であることや、集団行動をする上でルールやマナーを守ることが大切だということだ。修学旅行中、みんなの態度が少しずつ変わってきていることに気付いた。気付いたのは僕だけではないはずだ。しかも変わったのは、みんなだけではない。自分も変わったのだ。時間を気にしながら五分前行動をするという習慣が身に付いていたのである。これは、今でも続いている。今回の経験は、今後もしつと役立つだろう。



～胎内自然教室～ 5年生

私が自然教室で心に残ったことは二つあります。一つ目は、カヌーです。初めは、操作方法が分からなかったけれど、徐々に慣れてきて楽しくなってきたからです。特に左右の漕ぎ方でバランスを取ることが難しかったですが、後半は楽しく漕ぐことができたのでよかったです。二つ目は、キャンプファイヤーです。マイムマイムを協力し合いながらみんなと踊ることができたことと、猛獣狩りゲームで男女仲良く、楽しく行動することができたからです。私にとって貴重な経験となりました。今後の生活でも生かしていきたいと思います。

自然教室の思い出



自然教室の思い出

僕が胎内自然教室で一番思い出に残ったことは、キャンプファイヤーです。なぜなら、みんなで交流をして絆をさらに深めることができたことと、転校するお友達と楽しくて素晴らしい思い出を作ることができたからです。

キャンプファイヤーでは、元気にWANIMAの「やってみよう」を歌ったり、思いつきり汗をかいて「マイムマイム」を踊ったりすることができました。

みんなとの絆の大切さや、みんなで楽しく何でもやってみる大切さを学びました。

